

うどんこ病用殺菌剤

クロスアウト[®] フロアブル

®は登録商標

マルチスプレッド効果で
作物を徹底ガード!!



石原バイオサイエンス株式会社

特長

うどんこ病菌の様々なステージに作用

うどんこ病菌における胞子の付着器・吸器形成から菌糸伸長、胞子形成に至る各生育ステージを阻害することで、安定した防除効果を発揮します。

各種うどんこ病菌に優れた効果

既存の薬剤とは異なる新しい作用機構を持ち、表皮寄生性のうどんこ病はもとより、防除が困難な内部寄生性のうどんこ病にも高い効果を示します。

サンテーション効果(まん延防止効果)により、病害の拡大を抑える

うどんこ病の胞子形成を強く阻害し、胞子飛散による病害の拡大を防ぐことで、次世代の菌密度を効率的に抑えます。

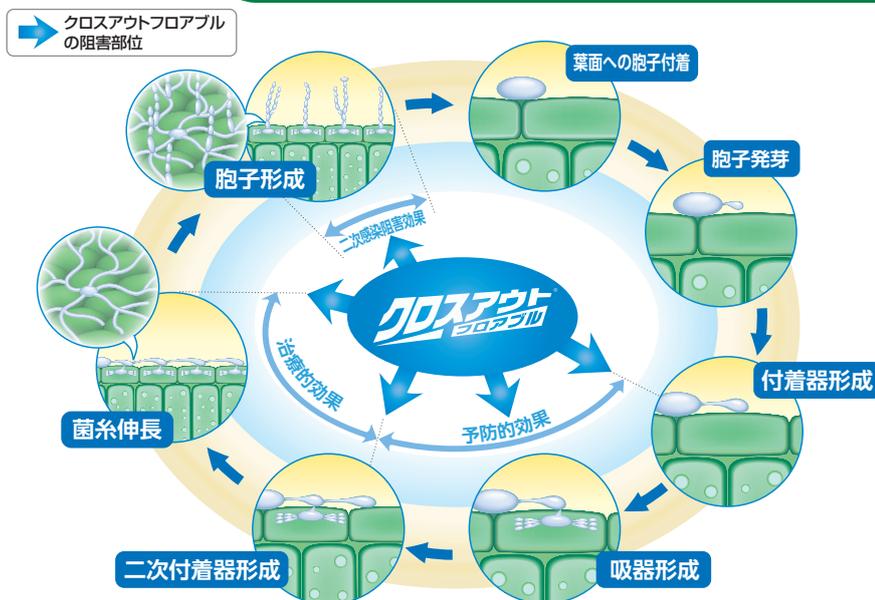
マルチスプレッド効果で作物をしっかりと守る

成分が速やかに葉内で拡散し、吸器形成を強く阻害することで病斑の拡大を抑え、安定した防除効果を発揮します。

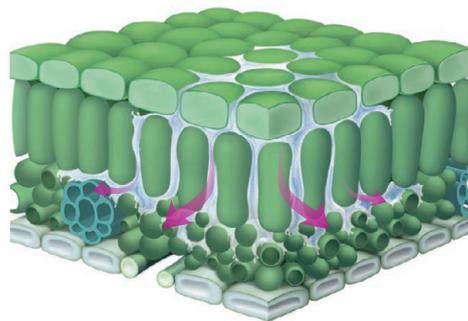
天敵、有用昆虫に対する高い安全性

訪花昆虫や天敵に影響がほとんどなく、IPM(総合的病害虫防除)に適した薬剤です。

うどんこ病菌とクロスアウトフロアブルの作用点



マルチスプレッド効果



マルチスプレッド効果により、葉内のあらゆる方向に広がった有効成分が一定期間留まることで安定した防除効果が得られ、残効性や耐雨性の向上に寄与します。

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ピリオフェノンを含む 農薬の総使用回数		
いちご	うどんこ病	3000~4000	100~300	収穫 前日まで	3回以内	散布	3回以内		
なす、ピーマン、 ししとう、さやえんどう		3000						2回以内	2回以内
トマト、ミニトマト									

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用直前に容器をよく振ってください。
- できるだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

● 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

